

進路新聞

第7号



発行日：令和7年12月15日

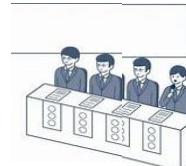
編集＆発行：希望が丘高等特別支援学校
進路指導部

◆後期現場実習(1~2年生)を終えて

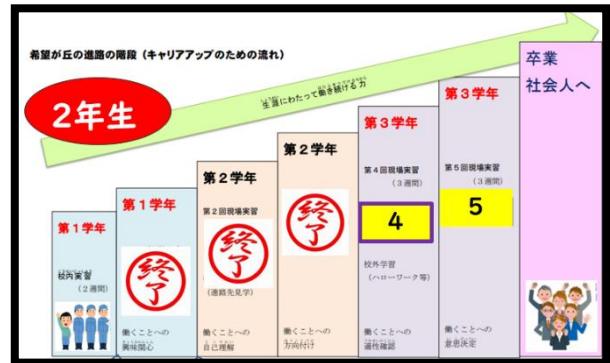
1～2年生の後期現場が終わりました。実習報告会では、多くの生徒が個人目標を振り返り、これから学校生活で課題を克服していきたいと宣言していました。その気持ちを忘れずに努力してほしいと思います。

生徒にも話をしましたが、先日、長崎県教育委員会の主催で『特別支援学校就労支援フォーラム』が行われました。その中でパネルディスカッションがあり、企業からは、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社と株式会社キシヤ、有限会社菅原産業の3社の代表者が参加されていました。ディスカッションの中で、企業が求める人材として、以下の回答がありました。そのうえで、生徒たちには、毎日の学校生活が整っている人は、必ず就職につながることを説明しました。

- 「明るく元気な人、大きな声で笑顔の挨拶ができる人」
 - 「真面目に一生懸命取り組む人、途中で投げ出さず最後まで頑張る人」
 - 「他の人と協力できる人」
 - 「自分の考えを伝えることができる人、他人の話をよく聞ける人」
 - 「時間を守れる人、遅刻をしない人」



3学期に1年生と2年生を対象とした進路面談(1/19~2/13)が実施されます。卒業後の進路や、次回の現場実習先について確認する貴重な機会となります。生徒には、自分の将来や進路について、「自分の言葉で伝えること」の大切さを話しています。自分の進路を自己選択、自己決定できるように、学校側もサポートしたいと考えています。



なお、3年生は 右図の流れで進んでいます。企業によって面接時期が異なりますが、進路実現に向けて頑張っています。これから面接を控えている生徒、すでに内定が出た生徒など様々ですが、順調に進路を決定できています。

特に、3年生の現場実習は、就職試験を兼ねた大切な実習となります。卒業を見据えて、ステップを踏みながら経験を積んでいきたいと考えております。

